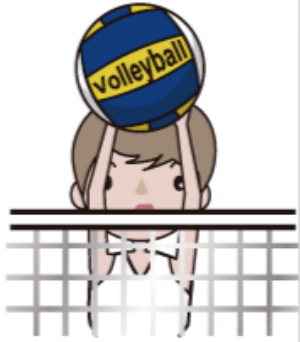




1941年東京生まれ
1964年早稲田大学卒
東部フットボールクラブ 前会長
流山市議当選 2期目

市議会 ほねぶとレポート



2018 女子バレー世界選手権大会 オランダ女子バレーボールチームが 流山で合宿!!

女子バレーボール世界選手権は9月29日～10月20日に
日本で開催されています。
24チームが参加。



皆さん!9月29日から始まった第1次リーグ戦は、4勝1敗で通過し、10月11日第2次リーグのブラジル戦④にはフルセット戦い、2-3で逆転負けしましたが、両チームとも第1次・2次リーグ戦6勝2敗となりました。実はセルビア③に3-1で勝利。ブラジル戦に1セットとれば総合評価で第3次リーグ戦出場が決定となる大事な大事な試合でした。逆転負けしましたが、第3次リーグに進出(24チーム中の6チーム)できました。

出場6チームは、イタリア⑦・中国①・オランダ⑧・日本⑥・セルビア③・アメリカ②の順です。(この順番は予選リーグでの順位で、○数字は昨年度の世界ランキング。)イタリアは唯一全勝で、日本は6勝2敗4位で第3次リーグに進みました。

さて14～16日の3日間は第3次リーグ戦2組に分かれ3チームの総当たり。抽選の結果、日本チームは第2次リーグ戦で3-1で勝ったセルビアと8戦全勝のイタリアのG組。中国・オランダ・アメリカがH組となりました。

14日のセルビア戦には、「2匹目の泥鰌」はいませんでした。先の試合よりレシーブが様変わりによくなくなった上に、故障で欠場していた19歳のエース・ボシュコビッチ選手(193cm)が復活出場し3セット計で20点以上稼ぐ大活躍。日本は0:3のストレート負けでした。

15日の相手は今回絶好調で8戦全勝のイタリアチーム。昨年度の世界ランキングが6位の日本の次7位ですが、体格的に大きな選手が多く、今回の戦いで、上位の中国・アメリカ・ロシアを撃破しての全勝です。なかなか、「大丈夫、勝てますよ!」と言えない相手でしたが、日本チームはフルセットに持ち込み、最終セットは13:15で力負けでしたが、まさに大健闘でした。

16日は、日本はお休み、イタリアとセルビア戦は、レシーブがよく

なった上にエース復活で、セルビアが3-1で勝利。順位はG組がセルビア・イタリア・日本、H組は、中国・オランダ・アメリカです。5・6位決定戦の日本の相手はアメリカに決定。

さて19日の日米対決はアメリカの勝利。準決勝はイタリアとセルビアが勝ち上がり。20日の3位決定戦は、オランダと中国が対戦して中国が3:0で3位確保。西川は、決勝戦はセルビア:中国と予想していましたが、中国がイタリアに負けてしまい、決勝戦は、セルビア:イタリア。フルセットの末に伏兵セルビアが初優勝でした。

実は世界選手権が始まる前、9月23～27日までオランダチームが流山市で合宿。これは2020東京オリンピックの開催時に流山で事前合宿を実現すべく強く働きかけていた市のプロモーションの成果です。西川は、元バレー選手として通訳又は雑用係で役立ちたいと事務局(スポーツ振興課)に要望しましたが、議員だからと言って特別扱いできないと断られました。しかしそこそこオランダ勢と交流を含め楽しんで来ました。

先ず、キッコーマンアリーナでオランダチームのモリソン監督に話しかけて名刺交換。彼は強豪アメリカチームのコーチだった2016年リオ・オリンピックで銀メダル獲得。その後望まれてオランダ監督へ!

来日初日の23日は、市長・教育長出席の歓迎レセプションの後、公開練習は軽く切り上げ、翌24日は、市内9中学約200名近い女子バレー部員に実技指導。一般女子のネットの高さは224cm、中学女子は215cm。身長差も大きく本気のスパイクには驚きの声。ユーモアあふれるプレーもあり、中学生選手達には楽しい経験となった筈です。25～27日までオランダチームは非公開の合宿練習を続けました。2020年のオリンピックには、バレーチームの再合宿もあかな?キッコーマンアリーナ誕生がもたらした流山の新しい可能性を認めていただければ幸いです。

平成30年度第3回定例会開催さる

平成29年度 一般会計及び 特別会計の歳入歳出決算審議

平成30年度第3回定例会が、8月30日(木)～10月2日(火)まで開催され、平成29年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算審査及び基金運用状況について慎重に審議がなされ、議会にて可決承認されました。概要については下記の通りです。

表1:一般会計歳入歳出決算総括 (単位:百万円)

区分	平成29年度	前年度比	平成28年度
予算現額	55,331	96.0	57,638
歳入決算額	55,088	98.9	55,689
歳出決算額	52,624	97.3	54,075
歳入歳出差引額	2,464	152.7	1,614
翌年繰り越し財源	322	193.0	167
実質収支額	2,142	148.0	1,447

表2:財政状況の推移

区分	平成29年度	平成28年度	前年度比
財政力指数	0.93	0.92	0.01
実質収支比率	7.0%	4.9%	2.1
経常収支比率	87.6%	88.1%	△0.5
公債費負担比率	11.4%	11.4%	0(同率)